



しろやま

令和5年11月27日
第8号
校長 鎌田 史顯

第123回創立記念式・賀寿表彰 心温まる・感動的な式になりました

11月8日（水）、第123回の創立記念式と賀寿表彰式を行いました。父母と教師の会長の山口様、同窓会長の無着様、ご来賓として学校運営協議会委員の皆様のご臨席をいただき、賀寿者として今年で70歳を迎えられる、本校卒業生の大先輩方26名にもご参加いただくことができました。

校長の式辞では、生々園の歌碑に込められた「思いや願い」のお話をさせていただきました。本沢は熱い思いと共に、脈々と受け継がれてきた文化・歴史・産業があり、豊かな自然に恵まれた地であること。そして、本沢の頑強な地盤に支えられながら学習できることは、本当に幸せなことであり、改めて確認し、気持ちを新たにすることが今日であることをお話しさせていただきました。また、賀寿の皆様には、お祝いの気持ちを伝えさせていただくと共に、これからも「良き伝統」を大切に、しっかりとつないでいく覚悟をお話ししました。

式の後、賀寿の皆様との記念撮影にご一緒しましたが、「子どもたちの歌がすばらしい」「子どもたちの姿に感動した」「心温まる式をありがとう」「今日ここに来ることができて本当に良かった」「本沢小が今でもすばらしい学校で本当にうれしい」など、本当にうれしいお言葉をたくさんいただきました。



校長式辞



賀寿代表の方への賀詞の贈呈



児童手づくりのプレゼント贈呈



全員でふるさとを歌いました

式辞（一部のみ掲載）

『國原は ここに展けて おほらけく
天の八隅に 高山がみゆ』

この歌は、本沢小学校の校歌を作詞された結城哀草果先生が、昭和32年に新築された、二階建て校舎の落成記念に詠まれたものです。「本沢小学校を中心として、村山盆地が北東に扇形にひらけ、四方を大小の山々が守り固め、東に蔵王、西に白鷹山が連なり、北には月山を望む」という雄大な景観が詠まれています。何度もこの歌を見せていただき、私はこうに解釈させていただいています。「この本沢は、誇れる歴史と文化の里であり、ここで育ち、学ぶことができる幸せを感じながら、大きく未来を展望し、高い理想と志を持って精進しなさい」との熱いメッセージが込められています。

（中略）

子ども達は「地域の宝」であり、「この地で大きく育って欲しい」という、熱い思いや願いが本当に伝わってきます。それを支える本沢の地域力や伝統、文化が、学校でも代々受け継がれ、大切に積みあがっており、それが今年で百二十三回と考えると、本沢に脈々と流れる大きな地域の力を感じます。その大きく頑強な地盤の上にある本沢小学校で学ぶことができることは、たいへん幸せなことですし、それを全校生で確認できる日が今日なのです。

地域調べやザリガニとり、城山や本沢川を調べたり、青菜を育てたり、漬物にしたり、稲やブドウを育てて収穫したりなど、地域にお住いの方々に先生になっていただいて、多くのことを教えていただいています。それは、本沢地区の方々の子ども達に対する熱い思いや願いに支えられている学習なのです。だからこそ、すばらしい体験を通じた豊かな学びによって、本沢地区の良さをたくさん発見し、自分の住む地域を大好きになり、誇りに思える人になって欲しいと思います。



全員が主役の学習発表会



例年は10月に実施している学習発表会ですが、今年度は2度の運動会の延期があったために、11月17日（金）に実施しました。これまでの学習の集大成として、学習成果のまとめを発表する場であると共に、この発表会に向けてさらに練習や準備をすることでも大きく学ぶことができ、一人一人が活躍できる場面です。

1年生は「すまいるっ子のげんきな一日」をテーマに、登校からの学校生活の一日を発表しました。朝のあいさつに始まり、朗読、体育、音楽の授業の様子を再現しながらできるようになったことを次々と紹介しました。入学して8か月、背丈も伸び、たくさん学んだことを堂々と発表する姿に、大きな成長を感じました。



2年生は「かがやき スイミー」をテーマとして、スイミーの劇を発表しました。体操、ダンス、楽器演奏もありの内容で、勢いよく泳ぐマグロが登場し、小さい魚が集まって大魚を作り、スイミーが目になって対抗するところがとても上手に表現されました。全員がとっても素敵で、精一杯発表できました。

3年生は「スクラムの森 ～すてきない音お聞かせします～」をテーマに発表しました。7人で発表をつくるということは一人一人のセリフも長し、役割も多いし、大道具小道具の準備も大変だったと思います。長いセリフを上手に語り、掛け合いも合いの手も巧みで、とても上手にできました。飛田先生が加わっての合奏も、8人とは思えないくらいに感じられました。



4年生は、「未来を守れ！ 防災レンジャーズ！」をテーマに、本沢川を調べてわかったこと、大切にしなければいけないこと、みんなに伝えたいことを防災レンジャーズが教えてくれるというものでした。どれも大切なことばかりでしたし、ポイントを整理し、わかりやすくまとめられているところがすばらしかったです。最後の演奏もとても上手でした。

5年生は「静から動へ ～あおぞら大サーカスへようこそ～」がテーマです。最初はタブレットで制作した「コマ撮りアニメ」の発表から始まりました。電子黒板に映し出されるコマ撮りアニメに会場は大爆笑。続いて一輪車、フラフープ、マット運動、歌とダンスと発表が続きました。授業での学習内容をもとに、発表に向けても練習を重ね、自分たちでアレンジしたり、演出を工夫したりしたのがとても伝わってくる発表となりました。



6年生は「きずな学年のぶどう認知度大革命」をテーマに、時代を超えたぶどうの認知度拡大の劇でした。「自分たちが育てたぶどうはこんなに美味しいのだから、かなり知られているはず」と思い、山形駅前調査をしてみたら、予想よりも認知度が低かった。

そこで、もっと大胆で、効果の上がる方法はないのかと考え、時代を超えて清少納言や紫式部に美味しさを伝え、枕草子や源氏物語に「本沢のぶどう」を記述してもらうというものでした。着眼点も、演出もおもしろい、さすが6年生という発表でした。

今年の学習発表会も、多くの保護者の方々と学校運営協議会の委員の皆様に見ていただくことができました。各学年とも児童全員が主役になり、たくさんの役割と活躍場面がありました。この発表までの活動を通し、さらに理解を深め、表現を工夫し、何度も改善を加えながら作り上げるというすばらしい経験をすることができました。ご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました。

